

教師説明型

PC教材

動画

静止画

Web

始

終

加古川市立志方東小学校
大住力也

実践テーマ

映像を視聴することによって理解を深める。

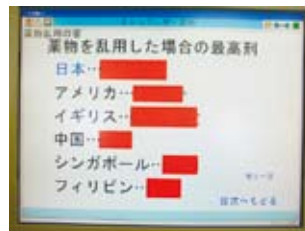
授業の進め方、デジタルテレビ等活用の仕方

導入：薬物の画像や、薬物を乱用した場合の刑罰（クイズ形式）をデジタルテレビで提示する。
（興味・関心を高める）

展開：薬物乱用防止教育ビデオ「ストップ・ザ・薬物」の中の薬物の害に関する部分や、薬物乱用者が描いた渦巻きの絵、縮んだ脳の画像、薬物乱用がもたらす社会的影響を伝えるWebコンテンツをデジタルテレビで見せる。（薬物乱用の害についての理解を助ける）

本時の展開

主な学習活動		
学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> 薬物乱用という言葉の意味を知る。 (薬物の画像や自作PC教材を活用) 1回でも乱用と言い、持っているだけでも罪になるなど法律で厳しく禁止されていることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 自作PC教材
展開	<ul style="list-style-type: none"> 薬物乱用の害について考える。 (動画、静止画、Webコンテンツを活用) 薬物に手を出すきっかけについて考える。 (教科書の挿絵や自作のカードを活用) 薬物乱用の害についての知識を確認し、すすめられたときの断り方を考える。 (ワークシートに記入) 	<ul style="list-style-type: none"> ビデオ「ストップ・ザ・薬物」の一場面から正常な脳と縮んでしまった脳の画像 教科書
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 薬物から身を守るための自己診断チェックをする。 (ワークシートに記入) 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート



自作PC教材 「刑罰」

児童の反応・効果

- 薬物の画像や、薬物を乱用した場合の刑罰（クイズ形式）をデジタルテレビで提示することにより興味・関心が高まった。
- 映像を視聴することにより理解が深まった。

活用のポイント

- シンナーなどの薬物は映像にとどめ、実物を教室に持ち込んではいけません。
- ビデオは途中で止めて内容を確認するといいい。
- 教師が薬物を進める役をし、児童に断り方の練習をさせる。
- 各自でWebコンテンツを開くなど、薬物乱用の害について調べる活動を取り入れるとより効果的な学習となる。